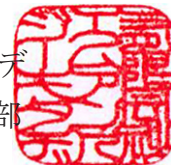


名南化成工業株式会社 御中

2026 年 6 月 2 日

有限会社エムアンドジーキタズ
板硝子加工事業部



板ガラス・板鏡製品の価格改定に関するお願い

拝啓 貴社益々のご繁栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨秋に発表された板硝子メーカー3社（日本板硝子・AGC・セントラル硝子）の価格改定が進み、販売代理店各社におきましても新価格による提供が進んでおります。

改訂要因である原材料費・加工人件費・輸送費等の高騰に加え、中東情勢の影響を受けた梱包資材等の高騰は製造原価全般を圧迫しており、弊社もコスト維持に努めて参りましたが、販売価格に転嫁せざるを得ない状況となりました。

板硝子メーカーの新価格実施後も、弊社在庫板の活用で現状価格維持をして参りましたが、旧価格在庫板が間もなく終了するにあたり、価格改定を実施させていただきたくこととなりました。誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、下記価格改定にご理解を賜りたくお願いを申し上げます。

敬具

記

価格改定実施日： 2026年 7月1日以降 受注分より

改定内容： 20%（高騰内訳は、材料高騰 15%、ほか加工人件費・梱包資材等 5%）

※ 本件における米国メーカーからの書類は発行されず弊社仕入れ元からも、見積書程度の案内のみですので、間接的ではありますが、弊社名義による上記ご案内と、同時期・同意となった国内硝子メーカー3社の資料を添付いたします。

2025年10月10日

お取引先各位

日本板硝子ビルディングプロダクツ株式会社
執行役員大阪支店長 奥野 高広

板ガラス製品の価格改定について（ご案内）

拝啓 貴社ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社ならびに弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループでは、製造工程の効率化や合理化によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、昨今の人件費・外注費・原燃材料費などの継続的なコスト上昇に加え、品質の維持および安定供給を実現するための製造設備の更新・増強、さらにはカーボンニュートラルの実現に向けた環境対策が急務となっております。

これらの背景を踏まえ、安定的かつ持続可能な製品供給体制を維持するため、やむを得ず販売価格の改定を実施することといたしました。弊社と致しましては、今後も引き続きコストダウン等の企業努力を重ね、サステナブルな経営に努めていく所存でございます。

諸事情ご賢察の上、下記価格改定につきましてご理解賜ります様、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 改定内容

- ・板ガラス製品（切断品含む） : 10～25%の価格アップ
- ・鏡製品 : 20～25%の価格アップ
- ・機能ガラス製品 : 15～20%の価格アップ
（複層ガラス（スペーシア 21 を含む）、合わせガラス、強化ガラス、パイロクリア、パイロストップ）
- ・加工加算（グレチャン加算、TGI・ブラックスペーサー加算等）

※特定の取引については記載以上の価格アップをお願いする場合がございます。

2. 実施日

2026年1月1日（木）出荷分より

3 その他

詳細につきましては弊社営業担当より、ご案内申し上げます。

以上

2025 年 9 月 17 日

AGC、国内建築用ガラス関連製品の価格を改定

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、国内建築用ガラス関連製品の販売価格を 2025 年 12 月 1 日納品分より引き上げることといたしました。引き上げ率は、フロートガラスが約 10%、型板ガラス・網入型板ガラス・網入磨き板ガラスが約 15%、建築用加工ガラスが 15～20%です。また、一部の製品については、20%以上の引き上げを予定しています。

AGCグループの国内建築用ガラス事業では、製造関連設備の維持更新や人件費、建築用加工製品の副資材等、ガラスの安定供給に必要な費用の増加が課題となっています。当社グループとしては、生産性向上等のコスト削減に努めてまいりましたが、増加分を全て吸収することは困難と判断し、今回の価格改定を決定いたしました。

AGCグループは、中期経営計画 **AGC *plus*-2026** において、市況変動に強く、資産効率・成長性・炭素効率の高い事業ポートフォリオの構築を目指し、様々な施策を行っています。

国内建築用ガラス事業においては、安定的な製品の供給および事業収益性の改善を通じて、継続的な社会的・経済的価値の創出に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部

TEL: 03-3218-5603 お問い合わせフォーム

News Release

2025 年 11 月 10 日

国内建築用板ガラス関連製品の価格改定について

セントラル硝子プロダクツ株式会社（本社：三重県松阪市、代表取締役社長 川瀬将昭）は、2026 年 2 月 1 日納入分より、国内建築用板ガラス関連製品の価格を改定することいたしました。引き上げ率は、型板ガラス・網入型板ガラス・線入型板ガラスが 1 5 ～ 2 5 %、フロート板ガラス・網入磨き板ガラス・線入磨き板ガラスが 1 0 ～ 1 5 %、鏡・加工ガラスが 1 0 ～ 2 0 %です。また、一部の製品につきましては、記載以上の改定をお願いする場合がございます。

当社グループの建築用ガラス事業では、生産性向上や合理化による徹底したコスト削減に努めてまいりました。しかしながら、近年、人件費や原材料費、製造設備の維持更新等に関わるコスト上昇が続いており、自助努力のみでこれらを全て吸収することは困難と判断し、今回の価格改定を決定いたしました。

当社グループは、引き続き安定的な製品供給と更なる品質向上を通じて、お客様の信頼に応えるとともに、持続可能な社会の実現に貢献する製品の提供に努めてまいります。

以 上

* 本件に関するお問い合わせ先

セントラル硝子プロダクツ株式会社

建築硝子営業企画部

電話（03）3259-7022